

## 記者発表（資料配付）

月 / 日	担当課(室)係名	電 話	発 表 者 名	その他資料配付先
8月31日 (金)	歴史博物館 (学芸課)	079-288-9011	次長 豊田幸雄 (学芸課長 香川雅信)	県教委記者クラブ 中播磨県民センター 各報道機関



## 特別展

# ほろよい・ひょうご 一酒と人の文化史一



大日本物産図会「摂津国伊丹酒造之図」 明治10年（1877） 兵庫県立歴史博物館蔵

## 展覧会概要

兵庫には酒造りにゆかりのある地域が多く、様々な人が「ひょうご」の酒の発展を支えてきました。特に、江戸時代には伊丹や灘地域の酒が「下り酒」として江戸で大人気となります。酒造家たちは様々な工夫を重ねながら酒を造り、飲み手もまた趣向をこらしてそれを味わいました。

本展では、江戸時代を中心にその歴史と文化について紹介するとともに、絵画や文学資料などを通して、酒と人との関係を考えます。

## 会期等

会 期 平成 30 年 (2018) 10 月 6 日 (土) ~11 月 25 日 (日) 開館 44 日間  
開館時間 午前 10 時~午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)  
休館日 月曜日  
※ただし、10 月 8 日 (月・祝) は開館、10 月 9 日 (火) は休館

主 催 兵庫県立歴史博物館  
神戸新聞社  
後 援 兵庫県  
兵庫県教育委員会  
NHK 神戸放送局  
サンテレビジョン  
ラジオ関西  
特別協力 兵庫県酒造組合連合会  
協 力 山陽電気鉄道株式会社  
神姫バス株式会社



遊春盃 (掬の盃) 江戸時代前期 赤穂大石神社蔵



可杯 近代 白鷹禄水苑蔵

## 観覧料金

大 人 1,000 円 (800 円)

大学生 700 円 (550 円)

高校生以下 無料

※( )内は 20 人以上の団体料金、障がい者及び 70 歳以上の方は半額、障がい者 1 人につき介護者 1 人は無料

## 展示内容

第1章 職人たちの技と心  
酒をつくる／蔵で働く人々  
／酒造りを支える人々



七萬石額 明治41年(1908) 西宮神社蔵

第2章 ひょうごの酒造り

ひょうご酒はじめ／「丹釀<sup>たんじょう</sup>」というブランド  
／技術の革新と酒造業の発展



酒屋看板 江戸時代 前川憲司氏蔵

第3章 酒がはぐくむ文化

酒の商業デザイン／酒がつくるネットワーク  
／酒造家のくらしと家族／酒に酔う文人たち



新撰銘酒寿語録 江戸時代 西宮市立中央図書館蔵

第4章 酒のある風景

モチーフは“酒”／飲んでも飲まれるな／人と人をつなぐ酒



太平喜餅酒多多買 三枚続 江戸時代後期 ケンシヨク「食」資料室蔵

## 関連行事

### (1) 特別展講演会 1

日 程 10月21日(日) 14:00~15:30  
講 師 大浦 和也 氏(白鹿記念酒造博物館 学芸員)  
演 題 江戸で人気の下り酒とその流通  
会 場 当館地階ホール  
参加費 無料  
定 員 先着100名(※当日受付)

### (2) 特別展講演会 2

日 程 10月28日(日) 14:00~15:30  
講 師 秋田 耕治 氏(小西酒造株式会社)  
演 題 江戸時代の酒造りと元禄の酒復刻  
会 場 当館地階ホール  
参加費 無料  
定 員 先着100名(※当日受付)

### (3) 県立美術館・博物館魅力発見事業

館長トーク「つくるひと・飲むひと ～酒づくりの今昔～」  
酒造り唄の実演と姫路の蔵元によるトークイベントです。

日 程 11月11日(日) 13:30~15:30  
出演者 [実演] 丹波流酒造り唄保存会  
[鼎談ゲスト(予定)] 田中康博 氏(田中酒造場 社長)  
川石光佐 氏(灘菊酒造株式会社 杜氏)  
[当館より] 藪田 貫(当館館長)  
会 場 当館地階ホール  
参加費 無料  
定 員 先着100名(※当日受付)

### (4) 菰(こも) 巻き実演

樽に菰を巻いていくようすを解説つきで披露します。  
日 程 11月10日(土) 14:30~  
実 演 株式会社岸本吉二商店



三ツ盃 近代 白鷹禄水苑蔵

(5) 展示解説

日 程 10月20日(土) 11:00～  
11月10日(土) 13:30～  
解 説 担当学芸員  
会 場 特別展会場  
参加費 無料(※特別展観覧料が必要)

★お問い合わせ先

兵庫県立歴史博物館

〒670-0012 兵庫県姫路市本町 68 番地

TEL 079-288-9011 FAX 079-288-9013

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~rekihaku-bo>

(展覧会内容に関すること) 担当学芸員 大黒 恵理  
(取材・写真提供に関すること) 事業企画課 山口 奈々絵

★交通

JR 姫路駅・山陽電車山陽姫路駅から、神姫バス「姫路医療センター経由」系統で約 8 分、  
『姫山公園北・博物館前』下車または、城周辺観光ループバスで約 8 分、『博物館前』  
下車

※周辺の有料駐車場をご利用ください

※大型バスでのご来館の場合は、事前に当館にご連絡下さい

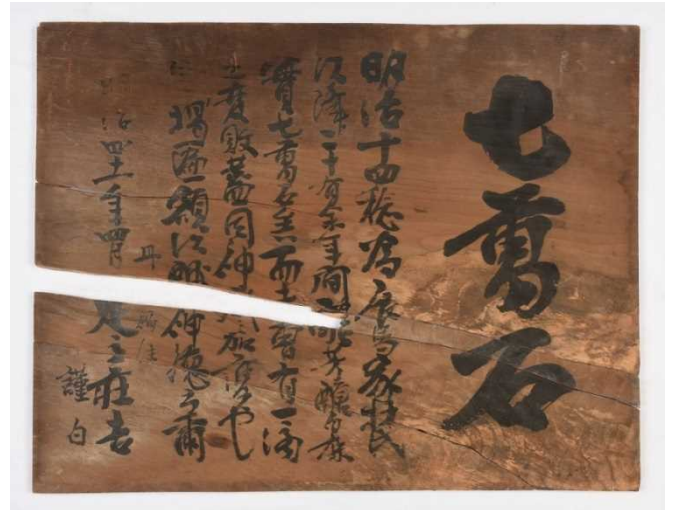


# 特別展「ほろよい・ひょうご—酒と人の文化史—」

## 画像資料



1. 大日本物産図会「摂津国伊丹酒造之図」  
明治10年(1877) 兵庫県立歴史博物館蔵



2. 七萬石額 <sup>ななまんこくがく</sup> 明治41年(1908) 西宮神社蔵



3. 酒屋看板 江戸時代 前川憲司氏蔵



4. 新撰銘酒寿語録 江戸時代 西宮市立中央図書館蔵



5. 三ツ盃 近代 白鷹緑水苑蔵



6. 遊春盃 (掟の盃) 江戸時代前期 赤穂大石神社蔵



7. 太平喜餅酒多多買 三枚続 江戸時代後期 ケンシヨク「食」資料室蔵



8. 可杯 近代 白鷹緑水苑蔵



特別展「ほろよい・ひょうご―酒と人の文化史―」

資料請求書

兵庫県立歴史博物館

FAX 079-288-9013

ご希望の写真番号を選び紙焼きもしくはデジタル欄に○印を付けてください。

番号	資料名・所蔵等	紙焼き	デジタル
1	大日本物産図会「撰津国伊丹酒造之図」 明治10年(1877) 兵庫県立歴史博物館蔵		
2	七萬石額 明治41年(1908) 西宮神社蔵		
3	酒屋看板 江戸時代 前川憲司氏蔵		
4	新撰銘酒寿語録 江戸時代 西宮市立中央図書館蔵		
5	三ツ盃 近代 白鷹緑水苑蔵		
6	遊春盃(掬の盃) 江戸時代前期 赤穂大石神社蔵		
7	太平喜餅酒多多買 三枚続 江戸時代後期 ケンシヨク「食」資料室蔵		
8	可杯 近代 白鷹緑水苑蔵		

※上記の画像を媒体掲載される場合は、資料名・所蔵等を必ず入れてください。

貴社名			
媒体名			
ご住所	〒 -		
ご担当者			
メールアドレス			
電話番号	FAX		
掲載・放送予定日			
読者・視聴者へのプレゼント (有・無)			組 名分希望
招待券必要枚数 ( ) 枚	最大5組10名様分まで		

※本展に関する記事をご掲載いただきました際には、掲載誌・URL等を、事業企画課までお送り願います。